

平成29年度 事業報告

平成29年度においては、事業計画に位置づけた事業について実施が見送られたものもあったが、膜構造の品質確保のための各種の講習会事業、膜構造普及のための見学会事業等、協会の定例的活動については、会員の協力を得て円滑に実施するとともに、調査研究活動については、定期的な委員会等の開催により活動を実施し、今後の研究成果の活用が期待されている。

また、国土交通省に協力した膜構造用フィルムの一般的な設計法の告示化については、平成29年6月に改正告示が公布・施行された。

一方、国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業としての建築材料品質性能評価事業や型式適合認定事業は、堅調に推移しているところである。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）

- (1) 国土交通省における、「膜構造用フィルム・ETFE」を用いた建築物の一般的な設計法の告示への位置付けに協力し、平成14年国土交通省告示第666号等の改正告示が、平成29年6月5日に公布・施行された。

これに合わせ、会員を対象とした改正告示の説明会を実施するとともに、膜構造に係る告示等の解説書である「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準及び同解説」の改定作業に着手した。

- (2) 「膜体加工工場登録」制度を推進し、14工場の工場審査を実施した。

（現在登録工場数 16工場。HPに掲載。）

- (3) 「膜施工管理技術者講習」を10月5日及び6日に実施し、S種16名が講習後の考査に臨み、S種16名を合格者として登録した。

（現在登録者数 S種63名、M種10名、R種1名、計74名。HPに掲載。）

- (4) 「定期点検者講習」を7月7日に実施し、37名が講習後の考査に臨み、36名を合格者として登録した。

（現在登録者数 124名。HPに掲載。）

- (5) 会員向けに作成している「膜構造建築物の膜体部張替えマニュアル」の見直しを行い、成案とするとともに、膜構造建築物の所有者・管理者・維持保全関係者等向けの「膜構造建築物の膜体部張替え判定の手引き」の策定を行った。

- (6) 膜材料等及び膜構造建築物における製造、加工、施工、維持保全の各段階における品質の確保・向上を図るための技術標準類の見直し作業に着手した。

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）

- (1) 設計実務への反映を目指した「膜構造建築物に相応しい風力係数」を提案するため、平成 28 年度に引き続き風力係数委員会を開催するとともに、過去に風洞実験論文が存在していない屋根形状の風洞実験の実施に協力し、「膜構造建築物における風荷重及び風力係数算定マニュアル」策定のための調査研究を実施した。
- (2) 膜種別毎の膜材料等の出荷実績、用途別・膜種別毎の膜構造建築物及び膜天井の事業実績のアンケート調査を実施し、毎年度の膜構造の事業実績に関するフローデータを整備した。
- (3) 物流施設等の産業施設の整備等において、テント倉庫建築物等の膜構造建築物の展開方向を検討していくため、産業施設整備研究会を設置し、調査検討を行った。
- (4) 「膜構造研究論文集 2017」を編纂した。（HP に掲載。）

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）

- (1) 記念講演会を、6 月 8 日通常総会後に開催した。
『膜構造と防災』 講師：菅原 進一 様 東京大学名誉教授、当協会会長
- (2) 膜構造・施設見学会を、9 月 26 日に開催した。
アークノヴァ（東京ミッドタウン）、六本木ヒルズアリーナ、みなとパーク芝浦
- (3) 膜構造建築物等の普及を図るため、設計者・公共建築担当者等を対象として、（一社）日本建築士事務所協会連合会との共催により、膜構造による魅力ある空間創造「見学会&講習会」を、関東地区において 11 月 21 日に開催した。
講習会講師：河端 昌也氏 横浜国立大学大学院准教授 他
見学施設：新豊洲 Brillia ランニングスタジアム、
東京大学柏キャンパス・テンセグリティ建築「ホワイトライノⅡ」
- (4) 協会ホームページの主要部分について、英文による掲載を開始した。
- (5) 協会ホームページの定期的なアップデートを行うとともに、総会後の記念講演会の講演資料、膜構造の事業実績等を「会員ページ」に掲載した。
- (6) 会員の若手職員を対象とする工場見学会等による研修会を、平岡織染（株）滋賀ターポリン工場、太陽工業（株）瑞穂工場・枚方工場の協力により、12 月 5 日・6 日に実施した。

4 性能評価事業等の実施（行政代行事業ほか）

- (1) 指定性能評価機関として、4 件の膜材料等について性能評価を実施した。
- (2) 指定認定機関として、33 件のテント倉庫建築物その他の膜構造建築物の型式適合認定を実施した。
- (3) 膜構造建築物に係る技術審査を 1 件実施した。

5 会議の開催状況

(1) 総会

平成 29 年度通常総会を 6 月 8 日に開催し、平成 28 年度事業報告及び決算を承認するとともに、会員規則の改正を行った。

また、平成 29 年度事業計画及び収支予算、平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書を報告した。

(2) 理事会

① 第 1 回通常理事会（5 月 11 日）

平成 28 年度事業報告及び決算、会員規則の改正の議案について、通常総会への提案に向けての審議を行うとともに、平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書を承認し、総会に付議する事項を決議した。

② 第 2 回臨時理事会（7 月 3 日）

協会への入会の可否を決定する議案を、書面により行った。

③ 第 3 回臨時理事会（11 月 29 日）

協会への入会の可否の決定、第 3 種正会員における会費の減免を行う会員の決定等の審議を行うとともに、事業実施状況の報告等を行った。

④ 第 4 回通常理事会（平成 30 年 3 月 30 日）

平成 30 年度事業計画及び収支予算、指定性能評価機関における業務区域の変更等の審議を行うとともに、事業実施状況の報告等を行った。

(3) 企画運営委員会

3 回開催し、理事会への付託案件、協会の運営、事業活動における課題等についての討議を行った。

(4) 普及情報委員会

1 回開催し、膜構造普及のための「見学会&講習会」、会員向けの膜構造・施設見学会、協会セミナーなどの実施に関する討議を行った。

(5) 維持保全専門委員会

3 回開催し、定期点検報告書 15 件の審査を行った。

(6) 工場登録専門委員会

委員会を 2 回、委員による現地工場審査を 8 行程・14 工場において行った。

(7) 性能評価委員会

「建築材料品質性能評価委員会」を 1 回開催し、膜材料 4 件についての性能評価を行った。（再掲）

(8) 型式適合認定委員会

11 回開催し、33 件についての審査を行った。（再掲）

(9) 膜構造技術審査委員会

3 回開催し、1 件についての審査を行った。（再掲）

6 会員の動向

	平成 29 年度末	平成 28 年度末
第 1 種正会員	1 9 社	1 8 社
第 2 種正会員	1 7 社	1 7 社
第 3 種正会員	9 3 名	9 4 名
第 4 種正会員	6 社	6 社
賛助会員	2 社	1 社
合 計	1 3 7 会員	1 3 6 会員

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な部分はないので、附属明細書は作成しない。